

激動の介護業界を生き残り、成長するための卓越した事業戦略を見出す

第14回

日本通所ケア研究大会

合同開催 第11回 認知症ケア研修会 in 福山

※本大会は日本認知症ケア学会単位認定講座です(2日間参加で認知症ケア専門士単位:3単位)※発表者はさらに1単位がプラスされます

11/28^土・29^日
開催

効果が出せる
高品質
プログラム

家庭や地域で利用者が
活躍できる場の**創出**

リハビリ・認知症・
中重度者対応の
専門性

国が求める自立支援・在宅支援へ徹底対応

生き残る為のこれからの **デイのつくり方!!**

利用者の流れを
把握し、**ウリ**の
明確化

地域・利用者にもっと頼られる!!

医療機関・他事業所との**連携**

活動・参加を生む
ケアの工夫

地域
利用者に

必要とされるデイになる10大ポイントを徹底解説

- ① もう始まっている!3年後の同時改定と地域包括ケアの行方
医療・介護の連携がより急速に進む3年後の診療報酬・介護報酬の同時改定と進展する地域包括ケア。今後の業界再編が必要とされるデイづくりについて指南いたします!
- ② どう動けばいいの?小規模デイの生き残り具体策を大公開
今改定で大打撃を受けた小規模デイは、今後も逆風・淘汰が予想されています。小規模デイ経営者・アドバイザーが今後の生き残り策をさまざまな視点から提示します。
- ③ 3年後の導入予定!成果報酬・アウトカム評価に備える
介護報酬の財源が限られてくる中で、介護分野にも迫るアウトカム評価と成果報酬制度。3年後の導入を見据えて研究チームがまとめたデイの質評価の具体的なポイントをお伝えします!
- ④ 卒業型デイが求められる理由とシステムづくり
生活期リハマネジメントにおける通所リハ⇄通所介護の双方向の連携から制度が求める卒業型デイのつくり方を考えます。
- ⑤ 持続可能なデイづくりに不可欠な生活相談員の資質
今改定でデイは地域連携の拠点として位置づけられ、生活相談員はその鍵となります。いかに利用者の望む生活を実現し、社会参加を促進していくのか事例から検討します。
- ⑥ 在宅生活に必要な生活行為を高める具体的プログラム
ICFの視点からデイサービス・デイケアにおける効果的な生活機能のアセスメント法、生活課題の解決に向けたトレーニングなどを実際に体験していただきます。
- ⑦ 認知症の方の残存能力を引き出すアプローチ
認知症の人と家族が笑顔で在宅生活を継続できることを目的とした環境の支援やアプローチをケア・リハビリそれぞれの角度からお伝えいたします。
- ⑧ ケアの質を高める環境の工夫と目標設定
ご利用者の行動と環境を読み解くことでケアの糸口が見つかります。今行っている「当たり前」のケアがこの研修でひっくり変える!
- ⑨ 中・重度者の受け入れに対応するためのケア技術
中・重度者の方がデイでのプログラムを楽しむことで生活意欲が湧いてくる! そのケア技術・システムづくりは、明日からの現場で即生かせます。
- ⑩ 機能訓練の効果を出すアセスメント術と記録の仕方
実際に効果を上げている事業所が利用しているアセスメントチェックシートや記録法を知ることで、自施設の書類・記録の見直しを図ります。

日程

2015年

11月28日^土・29日^日

会場

リーデンローズ、アルセ、まなびの館ローズコム
広島県福山市

参加費

[両日] 15,000円(税・抄録代込み)

[1日のみ] 10,000円(税・抄録代込み)

特典

両日参加者には
「デイの環境の工夫実践ガイド」
を大会当日にプレゼント!



通所系サービスの最先端情報が学べる大会スケジュール・詳細は中面をご覧ください

資料請求
お問い合わせ

日本通所ケア研究会事務局

〒721-0902

広島県福山市春日町浦上1205

TEL (084) 971-6686

FAX (084) 948-0641

メール info@tsuusho.com

ホームページ <http://www.tsuusho.com/meeting/>

通所ケア大会

検索

大会テーマ

介護保険制度改正・介護報酬改定への対応とその後のアクション

ー 本格化する地域密着型デイ・新しい総合事業への対応と制度が求める卒業型デイのつくり方 ー

4月の改定で各デイの基本報酬は、小規模デイ約－10%、通常・大規模デイは約－5%のダウンとなりました。減収対策として「新規利用者を増やす」「利用回数を増やす」「加算を算定する」という対応をされているところが多いと思います。しかし、ただ単純に利用回数を増やす、現行プログラムで新規利用者を獲得するだけでは、今後も続く大変革の荒波を乗り切ることはできません。制度が求める在宅支援・自立支援により多くの力点を注いだ新しいプログラムの実施、中・重度の方、認知症の方を受け入れていくことが必要です。

そこで今大会では、さまざまな視点からデイサービス・デイケアだからこそできる在宅支援の充実を図るためのプログラムを多数ご用意いたしました。

まだまだ、できることはたくさんあります。あなたの事業所で介護報酬改定後の「今」だからこそできることをこの大会で見出してください。

日本通所ケア研究会会長

妹尾 弘幸

大会スケジュール

28日 土		アルセ		
10:30	リーデンローズ 特別講演 1 地域包括ケアシステムの実現と次期介護報酬改定に備えてこれからのデイに望まれるもの 厚生労働省老健局振興課 課長補佐 谷内 一夫 氏	特別講演・シンポジウムの質問受付中！ 当日講師に話してもらいたいことを募集いたします ※参加申し込みの方には別途質問用紙を送付します		
12:00	休憩			
13:00	シンポジウム 地域密着型デイへの対応と小規模デイの生き残り (株)ケアビジネスパートナーズ 代表取締役 原田 匡 氏 NPO法人町田市つながの園DAYS BLG 理事長 前田 隆行 氏 あんしんケアねっと(有) 専務取締役 松村 薫 氏 (株)ユニティ 代表取締役 濱田 桂太郎 氏 (司会) 日本通所ケア研究会会長 妹尾 弘幸 氏	ケアの工夫コンテスト ケアの工夫①	ケアの工夫コンテスト ケアの工夫②	ケアの工夫コンテスト ケアの工夫③
15:00	休憩			
16:00		セミナー 1 これからの介護は成果報酬！ デイの質の評価の検討動向から 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 経済・社会政策部 主任研究員 国府田 文則 氏	セミナー 2 認知症の方の活動・社会参加を実現する事業所づくり NPO法人町田市つながの園DAYS BLG 理事長 前田 隆行 氏	セミナー 3 中小の小規模デイサービスが生き残るために行うべきシステムづくり ～小規模デイから地域密着型デイへの移行～ あんしんケアねっと(有) 専務取締役 松村 薫 氏
18:00	休憩			
18:30		参加者懇親会		
20:30				

※同じテーマの分科会・セミナーは午前・午後とも同じ内容になります。

29日 日		アルセ		
10:00	リーデンローズ	特別講演 2 穏やかな在宅支援を支える認知症リハ・ケアと認知症予防のライフスタイル 群馬大学大学院保健学研究科 教授 山口 晴保 氏	セミナー 7 小規模デイの生き残り戦略 介護元気化プロジェクト(株) 代表取締役社長 原田 匡 氏	セミナー 8 制度が求めるデイサービスに必要な生活相談員の役割と求められる資質 株風の風 通所介護事業部 部長 渡邊 明子 氏
12:00	休憩			
13:30		特別講演 3 個別機能訓練の考え方 ～I・IIの目標・プログラム例と進めていく上でのポイント～ 日本通所ケア研究会 会長 妹尾 弘幸 氏	セミナー 10 小規模デイの生き残り戦略 介護元気化プロジェクト(株) 代表取締役社長 原田 匡 氏	セミナー 11 制度が求めるデイサービスに必要な生活相談員の役割と求められる資質 株風の風 通所介護事業部 部長 渡邊 明子 氏
15:30				

前日開催

2日間の大会参加を有意義にするための

大会プレセミナー

11/27 金
13:00～17:00

先着限定
100名

「デイの利用者を増やす具体的工夫セミナー」

会場 まなびの館ローズコム
(広島県福山市霞町 1-10-1)

参加費 大会2日間参加者 **10,000円**(税・資料代込み)
上記以外の方 **18,000円**(税・資料代込み)

講師 妹尾 弘幸氏
NPO法人日本介護福祉教育研修機構理事長
(株)QOLサービス代表取締役
総合介護施設ありがとうグループ総施設長
「月刊デイ」「デイの経営と運営」編集長

その他 要予約申し込み

〈内容〉

1. 「売り」を作る
売りの具体例
2. ケアマネへの PR
(1) 効果を高める
PR グッズ・ツールの具体例
(2) 役に立つ報告書
3. お試し100% 本利用移行に
向けてのアクション例
(1) デイコンシェルジュの設置
(2) お試し前日までの活動
(3) お試し当日の活動
4. 利用者満足度を高める工夫
ありがとうグループ各デイの
プログラムの紹介
5. キャンセル防止策
(1) 1日の利用率を上げる工夫
(2) キャンセル率を下げる工夫
(3) 家族が喜ぶきめ細かな対応・ポイント
(4) 利用者対応の細かい工夫あれこれ
6. その他

※内容は変更になる場合がございます

アルセ			まなびの館ローズコム	
			10:00 大会協賛セミナー① 環境が変われば活動が変わる！ ご利用者が輝く自立支援・ 在宅支援のための 環境設定の工夫 ～全国各地のさまざまな事例紹介とともに～ 医療法人大誠会グループ 本部所属 山下 総司 氏 15:00	10:00 大会協賛セミナー② 認知症の人の気持ちと コミュニケーション実践講座 ～心がみえると心がつながる～ 社団) creve-クレイヴ 医療福祉コミュニケーションカレッジ 学長 佐久間 由香 氏 15:00
休憩				
ケアの工夫コンテスト	ケアの工夫コンテスト			
ケアの工夫④	ケアの工夫⑤			
休憩				
セミナー 4 中・重度認知症の方への 生活行為向上リハビリプログラム 介護老人保健施設ひもろぎの園 リハビリテーション科長 石井 利幸 氏	セミナー 5 生活行為向上を見据えた事業と その実践 (有)なるざ 代表取締役 作業療法士 谷川 真澄 氏	実技分科会 A 中・重度利用者の良い姿勢を 保つためのシーティング技術 NPO法人日本介護福祉 教育研修機構 理学療法士 野田 和美 氏	セミナー 6 現場で役立つ！認知症の方の BPSDへの対応 ～行動分析と環境から考える～ (有)せせらぎ 代表取締役 高橋 恵子 氏	実技分科会 B 個別機能訓練の目標の立て方と 効果を上げる在宅アセスメントの 方法と記録例 ～アセスメントからトレーニング例まで～ (株)ユニティ 代表取締役 濱田 桂太郎 氏
休憩				

アルセ			まなびの館ローズコム	
実技分科会 C 中・重度認知症の方への ケアの工夫と環境の工夫 医療法人大誠会グループ 本部所属 山下 総司 氏	セミナー 9 卒業型デイのつくり方 ～リハビリカンファレンス・利用者への説明 ・プログラム・システム・PRの工夫～ 医療法人博仁会 通所・サテライト科 科長 木戸田 真 氏	実技分科会 D 効果を出すための 実践的口腔ケア NPO法人健口サポート歯るる 副理事長 平松 満紀美 氏	実技分科会 E ご利用者の 生活行為向上のための 効果の上がるプログラム (株)ライフリー 代表取締役 佐藤 孝臣 氏	実技分科会 F ケアの視点が変わる！ 目からウロコの工夫あれこれ ～ケアの技術力アップからスタッフ育成まで～ 社会福祉法人ひだまり 施設長 永田 かおり 氏 小規模多機能型施設まっぴだまり 管理者 高居 松次 氏
休憩				
実技分科会 G 中・重度認知症の方への ケアの工夫と環境の工夫 医療法人大誠会グループ 本部所属 山下 総司 氏	実技分科会 H 長続きしない、すぐに席を立ってしまうなどの 行動がみられる認知症の方への レク・アクティビティ 介護老人保健施設古都の森 作業療法士 坂本 将徳 氏	実技分科会 I 効果を出すための 実践的口腔ケア NPO法人健口サポート歯るる 副理事長 平松 満紀美 氏	実技分科会 J ご利用者の 生活行為向上のための 効果の上がるプログラム (株)ライフリー 代表取締役 佐藤 孝臣 氏	実技分科会 K ケアの視点が変わる！ 目からウロコの工夫あれこれ ～ケアの技術力アップからスタッフ育成まで～ 社会福祉法人ひだまり 施設長 永田 かおり 氏 小規模多機能型施設まっぴだまり 管理者 高居 松次 氏

経営者・管理者 リーダー向け

制度改正・報酬改定の影響を知り、激動の介護業界を 生き残り成長を続けるための変化・卓越した戦略を見つける！

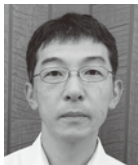
特別講演1

28日(土)
10:30~12:00

地域包括ケアシステムの実現と 次期介護報酬改定に備えて これからのデイに望まれるもの

地域包括ケア実現に向けた具体策

介護報酬改定から半年。介護保険制度が求める地域包括ケアに現場はいそむなか、来年度からの小規模デイの地域密着型デイへの移行、新しい総合事業の進展などデイの行方・動向は予測を許しません。地域包括ケアの推進・3年後の診療報酬・介護報酬の同時改定に備えて介護事業所に求められる真の役割とは何か。国が期待する役割と地域包括ケアの中で有効に機能していくために求められていることを提示していただきます。



谷内 一夫氏
厚生労働省老健局振興課
課長補佐

セミナー1

28日(土)
16:00~18:00

これからの介護は成果報酬！ デイの質の評価方法と具体的事例

デイの「質」評価のポイントを知り、サービスの質を高める

限られた社会保障費・財源から国が研究を進め次期改定で導入予定の「介護の質評価方法」とはどのような基準なのか。介護の質評価方法の動向のポイントと具体的事例についてご紹介いただきます。

ポイント

- ・国、制度の方向性
- ・地域特性による方策の差
- ・制度の内と外の両面で考える
- ・人材の重要性

ほか



国府田 文則氏
三菱UFJリサーチ&
コンサルティング(株)
経済・社会政策部
主任研究員

セミナー3

28日(土)
16:00~18:00

中小の小規模デイサービスが 生き残るために行うべきシステムづくり ～小規模デイから地域密着型デイへの移行～

小規模デイが地域密着型デイとして進化するための工夫

小規模デイが地域密着型デイとして進化していく工夫と今改定後の激動の上半期についての事例を交えながら、今後の小規模デイサービスの舵取りをお伝えいたします。

ポイント

- ・小規模デイサービスのスケールメリット
- ・トップが地域とつながる
- ・トップがスタッフを育む
- ・改定から半年!激動の上半期を振り返る
- ・地域密着型デイへの進化



松村 薫氏
あんしんケアねっと(有)
専務取締役

セミナー5

28日(土)
16:00~18:00

生活行為向上を見据えた事業と その実践

生活行為向上マネジメントを推進すること

効果的な多職種協働、制度が求めるシステムづくりを実現する「なるぞ」の実例を交えながら、システムづくり再構築のヒントや気付きをご提示いただきます。

ポイント

- ・リハビリ制度の転換
- ・生活行為の捉え方と事業所全体への導入
- ・個を見る事業所機能を向上させるには
- ・成果につながる専門職間連携
- ・生活行為向上の実践～施設から地域へ～

ほか



谷川 真澄氏
(有)なるぞ 代表取締役
作業療法士

セミナー7・10

29日(日)
10:00~12:00
13:30~15:30

小規模デイの生き残り戦略

小規模デイが勝ち残るために不可欠な視点

小規模デイはいかにして生き残っていくべきなのか。事業の根本を見つめ直し、介護報酬改定に左右されない活路の見出し方をご提示いただきます。

ポイント

- ・次代の小規模デイ経営に不可欠な「3つのキーワード」と6つの発想転換
- ・資本金がない会社でも戦略次第で必ず生き残れる!「大資本と真に向勝負せず、〇〇で差別化する方法」

ほか



原田 匡氏
(株)ケアビジネスパートナーズ
代表取締役

セミナー9

29日(日)
10:00~12:00

卒業型デイのつくり方

～リハビリカンファレンス・利用者への説明・プログラム・システム・PRの工夫～

生活期リハマネジメントと通所リハ、通所介護の連携

博仁会グループが地域で展開する生活期リハマネジメントと通所リハ、通所介護の連携などのシステムづくりのポイントや卒業後のフォローについて実例を紹介いたします。

ポイント

- ・卒業に向けた具体的な目標設定
- ・多職種協働におけるアプローチの実践
- ・リハビリケアワーカーの取り組み
- ・リハビリ機能強化型デイにおける生活機能向上プログラムの実際

ほか



木戸田 真氏
医療法人博仁会
通所・サテライト科 科長

シンポジウム

28日(土)
13:00~15:00

地域密着型デイへの対応と小規模デイの生き残り ～小規模デイの経営者必見!地域密着型デイに移行後は何が変わるのか～

小規模デイを実際に運営する経営者3名と介護特化型コンサルタントとしてさまざまなノウハウを開発する原田匡氏が、次年度からの小規模デイの生き残り具体策をそれぞれの立場から考えます。激動の介護業界の行方を見据え、今後の制度改正・報酬改定の余波を受けない具体的なアクションのヒントを導き出します。

進行内容

- ・小規模デイの地域密着型・サテライト型移行に伴い考えられること
- ・地域密着型移行のメリットとデメリット
- ・小規模デイの生き残り方策(強みの発見とつくり方と考える戦略)
- ・生き残るための戦略具体例
- ・法人として実施すべきこと
- ・質問・事例についてシンポジストがフリートーク
- ・各シンポジストより一言ずつ

シンポジスト (司会 / 妹尾 弘幸氏 (日本通所ケア研究会 会長))



原田 匡氏
(株)ケアビジネスパートナーズ
代表取締役



前田 隆行氏
NPO法人町田市つながりの開
DAYS BLG! 理事長



松村 薫氏
あんしんケアねっと(有)
専務取締役



濱田 桂太郎氏
(株)ユニティ 代表取締役

生活相談員・看護師 機能訓練指導員向け

生活機能の維持・改善を図るために必要な役割を再認し、 リハビリ・機能訓練を効果的に実施する技術・知識を体感する！

実技分科会A
28日±
16:00～18:00

中・重度利用者の良い姿勢を 保つためのシーティング技術

体の反応を見て行うシーティング技術

「中・重度の方の座位姿勢の見方」「改善の考え方」を実際に体験しながら学び、翌日からの実践で即時効果が期待できる実技を身に付けていただきます。

ポイント

- ・中・重度者に多い体の変化と姿勢
- ・3年後の拘縮はその座位がつくる
- ・長く良い姿勢で座ってもらうために
- ・車イスの各部位とその調整
- ・“シーティング”と“介助”の関係 ほか



野田 和美氏

NPO 法人日本介護福祉教育研修
機構 認定講師 / 理学療法士

実技分科会B
28日±
16:00～18:00

個別機能訓練の目標の立て方と効果を 上げる在宅アセスメントの方法と記録例 ～アセスメントからトレーニング例まで～

ADL・IADL・家族状況などオリジナルチェックシートの活用

ご利用者の在宅での問題解決法や実現できるリアルな目標設定、成功体験への導き方について実例を交えながら、参加者の皆さまと一緒に体験し考えます。

ポイント

- ・在宅訪問から見える目標とアプローチ
- ・「参加」における地域への視点
- ・「活動」へのアセスメントと取り組み
- ・多職種協働で行うためのスタッフ育成
- ・ご利用者への実際例 ほか



濱田 桂太郎氏

㈱ユニティ 代表取締役

セミナー8・11
29日±
10:00～12:00
13:30～15:30

制度が求めるデイサービスに必要な 生活相談員の役割と求められる資質

デイに期待される役割を実現するキーパーソンは生活相談員

地域連携や居宅訪問を通してご利用者の共感のプロセスとして「アセスメント」「計画」「モニタリング」を有意義に機能させるためのノウハウを提示いただきます。

ポイント

- ・共感のプロセスとしてのアセスメント・モニタリング
- ・本気で達成するための目標設定の方法
- ・生活機能向上目標達成のためのプログラム
- ・居宅訪問をどう生かすか
- ・利用者の社会参加を促進させるソーシャルワーク



渡邊 明子氏

㈱風の風 通所介護事業部
部長

実技分科会E・J
29日±
10:00～12:00
13:30～15:30

デイケア・デイサービスで行う ご利用者の生活行為向上のための 効果の上がるプログラム

生活機能のアセスメントと生活課題解決に向けての考え方

アセスメント方法を見直すことで「すべきこと」「しなければならないこと」が見出せ、効果の上がるプログラムが作成できます。そのプロセスを体感していただきます。

ポイント

- ・介護保険の基本理念を再考
- ・自立支援の考え方
- ・ADL・IADLのアセスメント
- ・生活課題の抽出
- ・やってみよう！プログラムの立案 ほか



佐藤 孝臣氏

(株)ライフリー 代表取締役

特別講演③
29日±
13:30～15:30

個別機能訓練の考え方

～I・IIの目標・プログラム例と進めていく上でのポイント～

個別機能訓練I・IIの意味を正しく理解する！

個別機能訓練 I・II の目標例やプログラム例を数多く例示し、皆さまの加算算定に関する悩みを解決する一助にしたいと思います。

ポイント

- ・デイにおける機能訓練の考え方
- ・個別機能訓練と生活機能
- ・個別機能訓練Iの目標例と具体的プログラム
- ・個別機能訓練IIの目標例と具体的プログラム
- ・在宅アセスメントと評価の実際 ほか



妹尾 弘幸氏

日本通所ケア研究会 会長

28日±
18:30～20:30

参加者懇親会 (フリーフード・フリードリンク)

おいしい食事を楽しみながら参加者同士・講師の方と親睦を深められる充実した懇親会を企画しました。皆さま是非ご参加ください。

参加費 4,000円 (飲食代含む)

会場 アルセ

その他 事前申し込みが必要です
立食パーティー式 (ビュッフェ形式)



写真はイメージです

ケアの工夫コンテスト

28日±
13:00～15:00

全国各地で取り組まれる ケアの工夫を大公開！！

例えば

- ・認知症の方が楽しく、その人らしく、気持ちよく入浴できる工夫
- ・利用者主体の作品展示会
- ・運動量と動作の質の向上を目指した歩行訓練の取り組み
- ・ビニール手袋を使った気持ちの良い手浴への取り組み
- ・自主トレーニングスペースの環境の工夫 など



写真はイメージです

【募集要項】

発表形式 一般演題発表(パワーポイントに限る) 定員 50名
※持ち時間1人10分(質疑応答を含む)

発表内容 日ごろの実践や施設での取り組み、そのほか介護に関する工夫ならなんでもOK

応募資格 当日の大会参加者に限る 詳しくは同封のチラシをご覧ください

発表者特典をご用意

- ① 両日大会参加の発表者の方は参加費を3,000円割引
- ② 各テーマごとに優秀な工夫を選出し、表彰いたします
- ③ 抄録原稿・発表データはPDF形式で1年間大会ホームページに掲載



現場スタッフ・ リハビリ専門職向け

認知症の方やご利用者が言葉で言い表せないニーズを
満たすための高品質なサービスづくりの手法を知る!

特別講演②
29日 日
10:00~12:00

穏やかな在宅生活を支える 認知症リハ・ケアと 認知症予防のライフスタイル

認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント

認知症の人と家族が笑顔で在宅生活を継続すること
を目標とした、認知症の脳活性化リハビリテーショ
ンを解説し、パーソン・センタード・ケアやユマニ
チュードの理念をお伝えいたします。

ポイント

- ・ 病識低下が認知症の本質
- ・ 楽しいコミュニケーションの効果
- ・ 長生きするといずれなるのが認知症
- ・ ほめる効果とほめ方のコツ
- ・ 役割が生かぎいを生む

ほか



山口 晴保氏
群馬大学大学院
保健学研究科 教授

セミナー2
28日 土
16:00~18:00

認知症の方の活動・社会参加を 実現する事業所づくり

今行っている“当たり前”のことは本当に“当たり前”のことなのか

認知症の方が生きがい、やりがいを感じる居場所づ
くりを実現するDAYS BLG! の活動事例を通じて
認知症ケアのあるべき姿を学んでいただきます。

ポイント

- ・ 認知症当事者の想いを酌んだ事業所づくり
- ・ 認知症の方と共にまちづくり
- ・ 地域リハビリテーション
- ・ 当たりのことを当たり前を考える視点
- ・ 結果、通いたい人が続出

ほか



前田 隆行氏
NPO 法人町田市つながりの開
DAYS BLG! 理事長

セミナー4
28日 土
16:00~18:00

中・重度認知症の方への 生活行為向上リハビリプログラム

認知症の方が在宅生活で困っていることを丁寧にアセスメントする力

認知症の方の生活行為を向上するために、本人を変えよ
うとするのではなく、介護者を含めた環境を調整するこ
との重要性について皆さんと一緒に考えていきます。

ポイント

- ・ 生活行為とは何か
- ・ 在宅生活で困っている生活行為の把握方法
- ・ 認知症の中核症状のアセスメント方法
- ・ 認知機能と生活行為の関係
- ・ 環境調整を中心とした関わり方の基本

ほか



石井 利幸氏
介護老人保健施設ひもろぎの園
リハビリテーション科長

セミナー6
28日 土
16:00~18:00

現場で役立つ! 認知症の方のBPSDへの対応 ～行動分析と環境から考える～

BPSDが生じる前後の行動と環境を観察することの必要性

認知症の方の困った行動に焦点を当てるのではなく、
BPSDが生じてくる前後の行動と環境を観察・分析し、
見直すことの重要性について事例を基に、明日からの
認知症ケアについて考えていきます。

ポイント

- ・ 認知症の行動と心理症状について
- ・ 介護現場で行っているケアは本当に適切なのか?
- ・ 行動分析学の基本となる考え方
- ・ 事例で考える! BPSD への対応
- ・ 行動と環境の関係から現場を見直す

ほか



高橋 恵子氏
(有)せせらぎ 代表取締役

実技分科会C・G
29日 日
10:00~12:00
13:30~15:30

中・重度認知症の方への ケアの工夫と環境の工夫

実践事例から効果を理解し、具体的な実践方法を学ぶ

認知症の方の気持ち、症状等を踏まえた考え方から具
体的な実践方法を学び、事例から効果を理解し、各事業所
で実践出来るケアの工夫について考えていきます。

ポイント

- ・ 改善ネガティブ派への説明方法と理解へのコツ
- ・ 理解して取り組めるようになる簡単ツール
- ・ 中重度認知症の方への工夫の実例とプロセス
- ・ ケア・環境の工夫における目標設定の重要性

ほか



山下 総司氏
医療法人誠会グループ
本部所属

実技分科会D・I
29日 日
10:00~12:00
13:30~15:30

効果を出すための実践的口腔ケア

誤嚥を予防する口腔ケアと食事時のポジショニングの重要性

口腔機能を正しく理解した上で、誤嚥を予防する口腔
ケア・食事時のポジショニングなど、さまざまな視点
からの口腔ケアのアプローチを学んでいただきます。

ポイント

- ・ ポジショニングの重要性
- ・ 介護職の不安解消!口腔ケアの術式ポイント
- ・ 口腔ケア終了のサイン
- ・ 口腔の問題点を把握するためのポイント
- ・ 口腔機能の確認について

ほか



平松 満紀美氏
NPO 法人健口サポート歯るる
副理事長

実技分科会F・K
29日 日
10:00~12:00
13:30~15:30

ケアの視点が変わる! 目からウロコの工夫あれこれ ～ケアの技術力アップからスタッフ育成まで～

「気付き」を現場に活かすケアの工夫と実践

人材育成を行うための法人としてのシステムづくりか
ら、日々の現場で行われているケアの工夫やケア力が
アップするための手法について参加体験型で学びます。

ポイント

- ・ 業務改善で何が見えるのか
- ・ 「なぜ?」の活用でケア技術力アップ
- ・ 「人が集まり」「人が育つ」好循環ケア
- ・ 理念を共有したケアの実現
- ・ 現場スタッフの視点が変わる工夫あれこれ

ほか



永田 かおり氏
社会福祉法人ひだまり 施設長



高居 松次氏
小規模多機能型施設ほっとひだまり
管理者

実技分科会H
29日 日
13:30~15:30

長続きしない、すぐに席を立ってしまう…などの 行動がみられる認知症の方への レク・アクティビティ

認知症の方が理解しやすいレク・アクティビティづくり

認知症の中核症状と周辺症状(BPSD)に目を向け、
BPSDを起こさせないためのレク・アクティビティの
実践を理論と実技を参加体験型で学びます。

ポイント

- ・ 認知症の特性について再確認しよう
- ・ 対認知症の方へ提供するプログラムの成功ポイント
- ・ 視覚に訴えかけるレクを提供するルールづくり
- ・ レクを継続して行うことでの効果
- ・ 実際に行っているレクネタの紹介と実際の体験



坂本 将徳氏
介護老人保健施設古都の森
作業療法士

お申し込みにあたっての注意事項 ※お申し込みの前に必ずお読みください。

参加区分の選択について

定員に達した場合は希望の特別講演・セミナー・実技分科会に参加できませんのでご了承ください。

1 11月28日（土）午前（10：30～12：00）の特別講演①について

「参加する」「参加しない」のどちらかを選択してください※大会協賛セミナー①②をご希望の方は「参加しない」を選択してください

2 11月28日（土）シンポジウム・ケアの工夫コンテスト（13：00～15：00）について

「シンポジウム」「ケアの工夫コンテスト」のどちらかを選択してください。

※ケアの工夫コンテストで発表される方は「ケアの工夫コンテスト」を選択し、別紙のケアの工夫コンテスト応募用紙よりご応募ください

3 11月28日（土）午後（16：00～18：00）のセミナー・実技分科会について

「セミナー①・②・③・④・⑤・⑥」「実技分科会①・②」より1つ選択してください。

4 11月29日（日）午前・午後の特別講演・セミナー・実技分科会について

※「セミナー」「実技分科会」の午前・午後ともに同じテーマのものは、同じ内容になります。

【午前】10：00～12：00

「特別講演②」「セミナー⑦・⑧・⑨」「実技分科会③・④・⑤・⑥」より1つ選択してください。

【午後】13：30～15：30

「特別講演③」「セミナー⑩・⑪」「実技分科会⑦・⑧・⑨・⑩・⑪」より1つ選択してください。

お弁当

日程 11月28日（土）・29日（日）

料金 各日 700円（お茶代込み）

その他 要事前申し込み

※リーデンローズの近隣にはショッピングモールがありますが大変込み合うため、お弁当のご利用をおすすめします。

※お弁当は各会場にてお渡しいたします。

※リーデンローズはホール内での飲食はできません。
昼食会場をご用意いたしますのでご利用ください。



参加者懇親会

おいしい食事と楽しみながら参加者同士・講師の方と親睦を深められる充実した懇親会を企画しました。
皆さま是非ご参加ください。

日時 11月28日（土）18：30～

会場 アルセ

参加費 4,000円（飲食代含む）

その他 事前申し込みが必要です。

立食パーティー式（ビュッフェ形式）



キャンセルについて

- ・参加をキャンセルされる場合は、必ず事務局までお申し出ください。
- ・キャンセルのご連絡がない場合は**100%のキャンセル料**をいただきます。
- ・ご入金後の参加費のご返金はできませんが、参加者および申し込み内容の変更、大会抄録・資料などの送付はいたします。

●お弁当のキャンセル料について

ご連絡日	お弁当
開催1週間前まで	無料
1週間～3日前まで	お弁当代金の50%
3日前～当日	お弁当代金の100%

お申し込み方法

- ・次ページの「大会お申し込み書」に必要事項をご記入いただき、大会事務局までFAX または郵送してください。
- ・大会公式ホームページ（「通所ケア大会」で検索）からもお申し込みいただけます。
- ・お申し込み確認後、「ご入金のご案内」を郵送にてお送りいたします。
- ・お申し込み後、1週間経っても「ご入金のご案内」が届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。
- ・大会当日にご持参いただく参加券等の書類は、ご入金確認後11月上旬を目途に送付いたします。
- ・講座内容によっては材料費が別途必要となる場合がございます。その場合は参加券に記載いたします。
- ・「宿泊」のご相談がある場合は、旅行取扱業者を斡旋いたします。
- ・「各セミナー」「分科会」が定員に達した場合は、ご参加いただけませんので、お早めにお申し込みください。

大会ホームページ <http://www.tsuusho.com/meeting/>

通所ケア大会

検索

第14回日本通所ケア研究大会 合同開催：第11回認知症ケア研修会 in 福山
大会参加お申し込み書

■書類送付先 ※大会参加証などを送付いたしますので、必要事項に漏れがないようご記入ください。

参加の手続き・申し込み・内容のお問い合わせ
日本通所ケア研究会事務局
〒720-0902 広島県福山市春日町浦上1205
TEL (084) 971-6686
FAX (084) 948-0641
メール info@tsuusho.com

請求先・書類送付先 (必ずどちらかに○印)	請求先・書類送付先住所 法人・個人	-			
氏名	TEL	()	()	FAX	()
				PCメール	@

※複数名で参加の場合は代表者名をご記入ください。

■参加申し込みについて

※「参加日程」「参加区分」「お弁当」「大会協賛セミナー」についてお選びください。

11/28日(土) 特別講演①・シンポジウム・ケアの工夫コンテストについて 「特別講演①」「シンポジウム」「ケアの工夫コンテスト」に参加される方は「大会協賛セミナー」へのご参加はできません。	11/28日(土) 午後(16:00~18:00)のセミナー・実技分科会について 「特別講演②」「セミナー⑦・⑧・⑨・④・⑤・⑥」「実技分科会④・⑥」より選択してください。	11/29日(日) 午前・午後の特別講演・セミナー・実技分科会について ※「セミナー」「実技分科会」の両方への参加は、午前・午後ともに別々にする必要があります。 午前「特別講演②」「セミナー⑦・⑧・⑨」 午後「特別講演③」「セミナー⑩・⑪」「実技分科会⑤・⑥・①・②・③」より1つ選択してください。
--	---	--

ふりがな	大会プレゼミナー	参加日程	11/28(土) 10:30~12:00 特別講演①	11/28(土) 13:00~15:00 シンポジウム・ケアの工夫コンテスト	11/28(土) 16:00~18:00 シンポジウム・ケアの工夫コンテスト	11/29(日) 10:00~12:00 参加希望の講座を1つ記入してください	11/29(日) 13:30~15:30 参加希望の講座を1つ記入してください	お弁当 ※別途各日 700円	大会協賛セミナー
参加者名	参加する 参加しない	両日 28日のみ 29日のみ	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない
ふくやま たろう	参加する 参加しない	両日 28日のみ 29日のみ	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない
福山 太郎	参加する 参加しない	両日 28日のみ 29日のみ	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない
記入例	参加する 参加しない	両日 28日のみ 29日のみ	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない
①	参加する 参加しない	両日 28日のみ 29日のみ	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない
②	参加する 参加しない	両日 28日のみ 29日のみ	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない
③	参加する 参加しない	両日 28日のみ 29日のみ	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない	参加する 参加しない

お申し込みにあたっての注意事項 ※必ずお読みください

- ・お申し込みの控を必ずコピーして保管してください。
- ・3名以上でお申し込みの場合は申し込み用紙をコピーしてお使いください。・お申し込み確認後、「入金のご案内」を郵送にてお送りいたします。
- ・お申し込み後、1週間経っても「入金のご案内」が届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。
- ・大会当日にご持参いただく参加券等の書類は、ご入金確認後11月上旬を目途に送付いたします。
- ・講座内容によっては材料費が別途必要となる場合がございます。その場合は参加券に記載いたします。
- ・「宿泊」「交通」等の大会参加に関わるご相談がある場合は、旅行取扱業者を斡旋いたしますのでご相談ください。
- ・「セミナー」「分科会」が定員に達した場合は、ご参加いただけませんので、お早めにお申し込みください。

キャンセルについて ※必ずお読みください

- ・参加をキャンセルされる場合は、必ず事務局までお申し出ください。
- ・キャンセルのご連絡がない場合は100%のキャンセル料をいただきます。
- ・ご入金後の参加費のご返金はできませんが、参加者および申し込み内容の変更、大会抄録・資料などの送付はいたします。
- ・お弁当のキャンセルにつきましては、開催1週間前までは無料、1週間~3日前までは50%、3日前~当日までは100%のキャンセル料をいただきます。

もっと詳しい情報はホームページにてご確認ください

通所ケア大会

検索

第14回日本通所ケア研究大会 ケアの工夫コンテスト

本研修は日本認知症ケア学会単位認定講座です。
発表者は認知症ケア専門士単位：4単位

手作りミラーセラピー



認識しやすい工夫



目標達成の表彰で承認欲求を満たす



自分の体調をセルフマネジメント

介護現場ではいろいろな工夫をしています。
自施設で当たり前に行っていることが実は、
他施設では目からウロコ！
そんな工夫を発表し合い、教え合って明日から
の自分たちのケアに生かし合う。
それが「ケアの工夫コンテスト」の目的です。

求む！
あなたがやっている
現場実践

発表者

大募集！！

ケアの工夫

小さいけれど、すぐに役立つ

応募締切
2015年

10/30

金

必着

現在こんな工夫が続々と送られてきています!!

- ・ 自宅で料理活動が定着する工夫
- ・ リラックス効果を目的としたアロマやツボ刺激等の取り組みの工夫
- ・ その人らしい生活に寄り添う～大切な活動が思いをあきらめないサポートによる工夫～
- ・ 認知症の人の気持ちをくみ取る工夫
- ・ 不安を解消、利用者と一緒に事業所見学!!通所リハの卒業を目指す工夫
- ・ 大規模施設が利用者満足度につなげるには～チェックリストを活用して意欲向上をめざす工夫～
- ・ 男性利用者に向けての活動支援の工夫～相撲クラブの活動を通して～
- ・ 認知症ケアの工夫～いつまでもしっかりしたお母さんで居て欲しい【息子の願い】
- ・ 若年性認知症の方のデイでの過ごし方の工夫
- ・ 認知症ケア～自宅での生活により近づけるための工夫～

ほか

介護現場で行われている工夫なら何でも OK です!

**どんどん現場での実践を出し合って
介護現場を活性化させましょう!**

発表日時 2015年 **11月28日** (土) 13:00～

【募集要項】

発表形式 **一般演題発表**(パワーポイントに限る) **定員 50名**
※持ち時間1人10分(質疑応答を含む)

発表内容 **日ごろの実践や施設での取り組み、そのほか介護に関する工夫ならなんでもOK**

応募資格 **当日の大会参加者に限る**

応募方法 **下記の申込書にご記入いただき、FAXまたは郵送
いただくか、大会ホームページからお申し込みください**
※この申込書だけでは大会への参加はできませんのでご注意ください。

発表者特典をご用意

- ① 両日大会参加の発表者の方は**参加費を3,000円割引**
- ② 各テーマごとに**優秀な工夫を選出し、表彰**いたします
- ③ 抄録原稿・発表データはPDF形式で**1年間大会ホームページに掲載**



第14回日本通所ケア研究大会 ケアの工夫コンテスト 申込書

FAX 084-948-0641

発表 テーマ	発表内容・ 工夫した点	どのような工夫をしたのか簡単にご記入ください	
ふりがな	ご連絡先 ※下記のどちらかに ○を付けてください (法人・個人)	住所	〒
氏名		TEL	
携帯		FAX	
法人名		メール	

お問い合わせ
資料請求

〒721-0902 広島県福山市春日町浦上1205 (株)QOLサービス内

日本通所ケア研究会事務局 福山認知症ケア研究会

大会ホームページ <http://www.tsuusho.com/meeting/> メール info@tsuusho.com

TEL 084-971-6686

FAX 084-948-0641

ご利用者が輝く！ 自立支援・在宅支援のための 環境設定の工夫セミナー

第14回日本通所ケア研究大会
協賛セミナー①

全国各地のさまざまな事例紹介と実践者の生の声とともに

環境が変わることで
利用者もスタッフも
変化する

日時 2015年
11月28日(土)
10:00～15:00

会場 **まなびの館ローズコム**
(広島県福山市霞町1-10-1)

参加費 ①日本通所ケア研究大会両日参加者 **無料**

※①は日本通所ケア研究大会の参加費が別途必要です

②上記以外の方 **5,000円**

ご利用者の動きを引き出す

内容 「役割」「納得」「必要性」のプロセス

- ・ 根拠のあるケアをあなたはできていますか？
- ・ 環境が変わる事で利用者もスタッフも変化する！その要因はモチベーション
- ・ 環境を作るのは色々な事を理解しているスタッフつまり、施設側
- ・ 利用者の事を知り、疾病や障害について学び、現場に活かす必要性
- ・ 環境づくりの必要性和考え方、実践に至る具体的な手法と効果
- ・ 環境づくりとは建物や設備だけでなく、ケアの質、職員の思いが必要
- ・ 環境づくり、改善に実際に取り組んでいる全国の事業所の取り組み
- ・ 実際に取り組む小規模～通常規模以上、民間、社福、社協など事業所の生の声(環境改善に至った「きっかけ」「失敗」「苦労した事」「成功体験」「モチベーションアップまでの取り組み」など)

講師 **山下 総司氏**

医療法人大誠会グループ本部所属



約11年務めた企業を退職後、奈良県内の高齢者施設(デイ・特養・老健)や障害者施設などで、介護職員・生活指導員・管理者として約8年間勤務する。平成23年6月に講師、施設環境アドバイザーとして独立。平成24年10月より「NPO法人シルバー総合研究所研究員」として活動。平成26年より医療法人大誠会に在籍している。介護福祉士、社会福祉主事、認知症実践者研修終了者。

簡単そうでなかなか実践できない…

**利用者とスタッフの双方にとって
プラスとなる環境づくり例**

最初の準備から作業、片付けまでやっていただく
理由(根拠)

利用者

利用者が役割(仕事)として実施

- ① タオルの収納場所から必要な枚数のタオルを持ってくる
- ② 持ってきたものを水にぬらして、絞り、おしぼりを作る
- ③ 作り終わったら、おしぼりの置き場所へ運ぶ

仕事を任せられ、職員からも感謝される。やり遂げた達成感が生まれる



職員

基本的に、職員が必要な場面はない。職員は違う業務をやりながら、利用者から呼ばれたら見る程度

利用者の動きを引き出す環境づくりができる



第14回 日本通所ケア研究大会協賛セミナー① お申し込み書

FAX 084-948-0641

第14回 日本通所ケア研究大会への参加の有無

※どちらかに○をつけてください

① 大会2日間参加

② 大会1日のみ参加
または協賛セミナー①のみ

ふりがな	TEL (個人・法人)	FAX (個人・法人)
参加者名	携 帯	PCメール (必須)
請求先・書類送付先住所	(□法人 □個人 ※どちらかに○をつけてください) 〒	
法人名	職 種	経験年数
職場種別	デイケア ・ デイサービス ・ 特養 ・ 老健 ・ グループホーム ・ 小規模 ・ 他 ()	

定員になり次第締め切りますのでお早めにお申し込みください(上記個人情報、本件講座の管理・運営に関してのみ使用します)
最少催行人数に達しない場合は中止になる場合があります。

お問合せ

〒721-0902

広島県福山市春日町浦上1205(株)QOLサービス内

研究会ホームページ

http://www.tsuusho.com/

メール info@tsuusho.com

日本通所ケア研究会事務局

TEL 084-971-6686

FAX 084-948-0641

第14回日本通所ケア研究大会
協賛セミナー②

心がみえると心がつながる

認知症の人の気持ちと コミュニケーション実践講座



認知症ケアに携わる あなたへの提案

- ・想いに気付くポジションチェンジ
- ・自分が知らないことを積極的に学ぶ
- ・認知症の人の行動を決めつけない
- ・受け入れなくてもいいからありのままを受け止める

講師

さ く ま ゆ う か
佐久間 由香氏

社団) creve- クレイヴ 医療福祉コミュニケーションカレッジ学長

講師プロフィール

15年前に実父が心の病で他界。その後、大学病院（手術室救命病棟）から特養へ転職。以後、訪問看護ステーション、デイサービス、重度身体障害者施設や介護学校へとフィールドを広げ、医療福祉にかかわる方々の「楽しいを創る！ワクワクで生きる！」をコンセプトに、認知症の理解と関わり講座・介護コーチング講座・レク講座の講師やメンタルコーチとして全国で活動中。



内容

誌面だけでは伝わらない!! 「認知症ケア最前線」で
連載中の内容をお伝えします

ワークを取り入れた体験型学習プログラム

- ・型にはまったケアではなく、一人ひとりのケアの方向性が見出せる
- ・「認知症の人の気持ち」に基づく人としての関わり方
- ・アドラー心理学による幸せの3条件としての尊厳のあり方
- ・コミュニケーション実践ワーク【介護におけるコーチングとは?】
- ・気持ちの引き出し方・関わり方
- ・白紙で「今ここ!」の想いを引き出す NEW 傾聴法
- ・五感を使ったワーク
- ・思いやりのイスによるポジションチェンジ
- ・ケアするあなたのストレス緩和(モチベーション管理)
- ・みらいへのアクションづくり など

日時 2015年
11月28日(土)

10:00~15:00

会場 **まなびの館ローズコム**
(広島県福山市霞町1-10-1)

参加費 ①日本通所ケア研究大会両日参加者 **無料**
②上記以外の方 **5,000円**
※①は日本通所ケア研究大会の参加費が別途必要です

その他 第14回日本通所ケア研究大会の情報は
通所ケア大会 で 検索

第14回 日本通所ケア研究大会協賛セミナー② お申し込み書

FAX 084-948-0641

第14回 日本通所ケア研究大会への参加の有無
※どちらかに○をつけてください

① 大会2日間参加

② 大会1日のみ参加
または協賛セミナー②のみ

ふりがな		TEL (個人・法人)		FAX (個人・法人)	
参加者名		携 帯		PCメール (必須)	
請求先・ 書類送付先 住所	(□法人 □個人※どちらかに○をつけてください) 〒				
法人名		職 種		経験年数	
職場種別	デイケア ・ デイサービス ・ 特養 ・ 老健 ・ グループホーム ・ 小規模 ・ 他 ()				

定員になり次第締め切りますので早めにお申し込みください(上記個人情報は、本件講座の管理・運営にのみ使用します)
最少催行人数に達しない場合は中止になる場合があります。

お問合せ 721-0902

広島県福山市春日町浦上1205(株) QOL サービス内

日本通所ケア研究会事務局

TEL 084-971-6686

研究会ホームページ <http://www.tsuusho.com/>

メール info@tsuusho.com

FAX 084-948-0641